

愛知県ITS推進協議会 ITS安全・安心グループにおける取組について

1 交通安全のためのITS実証実験の実施について

愛知県ITS推進協議会（会長：愛知県知事）では、「ITS安全・安心グループ」を設置し、平成25年度は交通安全をテーマに、ITSの活用方策や具体化に向けた取組等を検討しました。

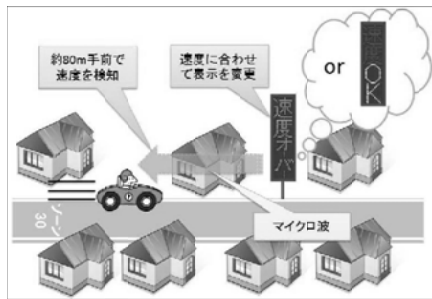
協議会会員から提案のあったITS活用方策のうち、（公財）豊田都市交通研究所の「車速センサーと電光掲示板を用いたゾーン30での速度超過対策」については、同研究所と本協議会、刈谷市及び豊田市とが協力して、刈谷市内と豊田市内で実証実験を実施します。これは、ゾーン30では全国初の取組として実施するものです。

刈谷市内での実証実験は、現在、以下のとおり実施しています。豊田市内での実証実験は、刈谷市内での実証実験の終了後に実施します。

(1) 実証実験の概要

走行中の車両の速度をセンサーで検知して、電光掲示板に警告等を掲示し、速度超過抑制を図ります。

- ① 道路に設置した表示板一体型の車速センサーにより車両の速度を検知
- ② 速度超過車両には「速度オーバー」、速度遵守車両には「速度OK」と電光掲示板に表示
- ③ 電光掲示板の表示から通過するまでの車両速度の変化を記録



(2) 実証実験の場所

東刈谷地区のゾーン30

(3) 電光掲示板の運用期間

平成26年7月12日（土）から
平成26年9月6日（土）まで



2 今後のITS安全・安心グループの活動（案）について

オープンデータ・ビッグデータの利活用により、安全・安心分野（交通安全、防災など）での新たなITSサービスの創出を図ることを目的に活動します。

第1段階（平成26年度）

- ◆ 官公庁のオープンデータ、交通・通信事業者等が有するビッグデータ（位置情報、経路情報等）の利活用によるITS（人の移動を安全かつ円滑にするシステム）の発展を目指して、関係官公庁と関心のある会員企業が参加する研究会・アイデアソンを開催する。

*国、県、県警、道路管理者（国、県）による話題提供、参加者による意見交換などを予定

- ◆ 会員企業からオープンデータ・ビッグデータを活用して、ITSの振興に貢献する提案募集行う。平成26年度は「交通安全」分野を設定。
- ◆ 応募のあった提案について、審査を行い、実証可能な提案を選定する。

- ◆ 選定された提案に対し、可能な範囲で、データ提供を行い、アプリ開発を行い、実証実験する。